

東京北医療センター 泌尿器科専攻医プログラム【基幹：筑波大学附属病院】

病院の特徴

- ◆ 24時間体制による小児診療や、周産期診療に重点を置いた医療を提供
- ◆ 地域の医療機関等の連携を深め、地域における中核病院としての役割
- ◆ へき地・離島等への医療支援を行うと共に、災害時には拠点病院としての役割
- ◆ 病院と介護老人施設との包括的サービスの提供
- ◆ 民間の創意工夫を生かした効率的な事業運営



◆ 期間：4年間

◆ 修了基準：4年修了時

プログラムの概要

- ◆ 泌尿器科専門医としての診療に必要な基礎知識ならびに技術を修得するとともに、泌尿器科各種関連領域（サブスペシャリティ：小児泌尿器科、アンドロロジー、女性泌尿器科、排尿機能障害、悪性腫瘍の集学的治療など）の基礎的知識も習得する。

★研修内容

- 1年目：本施設で病棟業務を通じて泌尿器科の基本的知識・技能の習得を行う。
- 2年目：病棟業務および外来診療を行う。主要疾患に関しては、外来診療（初診・再診）、入院中の患者管理、手術を含めた診療の全体像を把握できるようになる事を目標とする。
- 3年目：病棟業務および外来診療を行う。合併症を有する複雑な症例の診断・治療方針の立案に積極的に関与する。
- 4年目：本施設病棟業務および外来診療を行う。合併症を有する複雑な症例の診断・治療方針の立案に積極的に関与する。泌尿器科専門医試験を受験する。

プログラムの特徴

- ◆ 泌尿器科は、筑波大学腎泌尿器外科の関連施設であるので、研修中に大学病院や関連施設での専門研修を受けることが可能。特に、泌尿器科各種関連領域（サブスペシャリティ）については、期間中、積極的に当院外での研修を受けることをお勧めする。
- ◆ 研修可能な主な院外施設：筑波大学附属病院、国際医療福祉大学病院、日立総合病院、茨城県立中央病院・地域がんセンターなど。

得られる受験資格

- ◆ 研修開始時、日本泌尿器科学会に入会するとともに研修開始登録を行なう。3年間の泌尿器科専門研修終了後に専門医試験を受験し、合格すれば4年間の泌尿器科専門研修終了後に日本泌尿器科学会認定専門医を取得できる。
- ◆ がん治療認定医機構認定がん治療認定医試験の受験資格を得ることも可能である。

ローテーション例

S1 院外：他施設の泌尿器科ローテーション

S2 院内泌尿器科ローテーション

S3 院内泌尿器科ローテーション

S4 院外：他施設の泌尿器科ローテーション

※他施設については特徴を参考にすること

お申し込み・お問い合わせ

是非一度ご見学にお越し下さい！

見学は随時受付中です。

下記にご連絡ください。

- ◆ 東京北医療センター 臨床研修センター
- ◆ TEL 03-5963-3311
- ◆ FAX 03-5963-6678
- ◆ kensyu-s@tokyokita-jadecom.jp